



しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

なつ休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2021年版]

	しょめい さくしやめい しゅっぱんしや	ないよう
えほん	<p>「おなじ月をみて」</p>  <p>ジミー・リヤオ 作 天野 健太郎 訳 ブロンズ新社</p>	<p>ハンハンは、いつもまどからそとを見て、月が出るのをまっています。すると、きずついたどうぶつたちがやってきたので、ところをこめてきずの手あてをして、はげましてあげました。そして、せんそうにいったおとうさんがかえるのをまちながら、ハンハンが見ている月は…。</p>
えほん	<p>「ぜんぶわかる!アサガオ」</p>  <p>渡邊 弘晴 著 仁田坂 英二 監修 ポプラ社</p>	<p>1200年前に日本へやってきたアサガオにはどんなしゅるいがあるのでしょうか？アサガオのそだっていくようすや、花やタネのちがいが、しゃしんとともにしょうかいされています。アサガオクイズにもちょうせんしてみてくださいね。</p>
えほん	<p>「わたしの『やめて』」</p>  <p>自由と平和のための 京大有志の声明書</p> <p>【こども語訳】 文 塚本 やすし 絵 朝日新聞出版</p>	<p>せんそうは、みんなのころもからだもきずつけて、いちどはじめてしまうと、おわるのはすぐすぐむずかしいもの…。だから、せんそうをはじめようとする人たちに大きなこえで、『やめて』というんだ！</p>
えほん	<p>「おさがり」</p>  <p>くすのきしげのり さく 北村 裕花 え 東洋館出版社</p>	<p>あたらしいものをかってもらえないなっちゃん、ふくも、おもちゃも、えほんも、おねえちゃんの「おさがり」ばかりです。ふるいものさしをがっこうへもってきて、大きなためいきをついていたなっちゃんに、先生はたいせつな思い出をはなしてくれました。</p>
えほん	<p>「おたすけじぞう」</p>  <p>はるくはるる ぶん 田中 六大 え 文芸社</p>	<p>あしたから2がっきがはじまるのに、小学2年生のみっちゃんはずんぜんしゅくだいをしていなくて、先生におこられそうです。もう、おじぞうさんにおねがいするしかない！しゅくだいと、おそなえと、毛はえぐすりをもって、おじぞうさんのもとへむかうと…。</p>

	しょめい さくしやめい しゅっぱんしや	ないよう
としよ	<p>「ぞうのはなはなぜながい」</p>  <p>ラドヤード・キプリング 原作 寺村 輝夫 文 長 新太 絵 集英社</p>	<p>しりたがりやの子ゾウは、なんでもまわりのみんなにしゅもんをしていましたが、みんなはうさがあってあいてにしてくれませんでした。子ゾウは、しりたいことのこたえを見つけるため、たびに出ることにしました。</p>
としよ	<p>「二年二組のたからばこ」</p>  <p>山本 悦子 作 佐藤 真紀子 絵 童心社</p>	<p>たからくんのつくえからは、どんどんおとしものがおちていくから、二年二組にはそれを入れておく「たからばこ」があります。おとしものがおおいのは、ものを大切にしていけないからなのかな？</p>
としよ	<p>「ふしぎなやまびこしゃしんかん」</p>  <p>中島 和子 作 秋里 信子 絵 金の星社</p>	<p>ゆいのおじいちゃんがいとむ小さなしゃしんかんは町のはずれにあって、あまりおきやくさまが来ていませんでした。元気のないおじいちゃんのために、ゆいがポスターを作ってはってみると、ふしぎなおきやくさまが来るようになり…。</p>
としよ	<p>「一元大王さま」</p>  <p>すとう あさえ 作 白土 あつこ 絵 ひさかたチャイルド</p>	<p>一年生のようたは、はじめてのおこづかいでボールペンを買った時に一元玉のおつりをもらいました。一元玉って本当にお金？オモチャぎんこうのお金みたい、と思っていたとき、一元玉が大きくなって一元大王さまがあらわれた！</p>
としよ	<p>「ひきがえるにげんまん」</p>  <p>最上 一平 作 武田 美穂 絵 ポプラ社</p>	<p>なかよし三人組は、かえりみち車にひかれてぺっちゃんこになってしんでいるひきがえるを見つけました。ひきがえるは、しんでどこにいったんだろう？いのちと、しについて、三人はいろいろなことをかんがえはじめます。</p>